

2026年8月期 (2025年9月～2026年8月)

決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
東証スタンダード
証券コード：6668



2026年8月期連結業績

2026年8月期 概況

売上高	138億円（前期比	+9.5%	過去最高）
受注高	210億円（前期比	+89.4%	過去最高）
受注残高	114億円（前期比	+168.5%	過去最高）

《半導体・液晶関連事業》

- 第2四半期以降、半導体業界の設備投資需要が回復し、受注高が大幅に増加する中、生産キャパシティの増強を進め、売上高は過去最高を更新した。

《研究機関・大学関連事業》

- 前期に受注した大口案件（医療装置向け加速器用電源）の設計・製造を推進し、2027年8月期の売上計上に向けた対応を着実に進めた。

2027年8月期 業績予想

《半導体・液晶関連事業》

- 半導体関連の受注環境は引き続き堅調に推移しており、部材確保および生産キャパシティの増強を継続することで、増収増益を見込む。

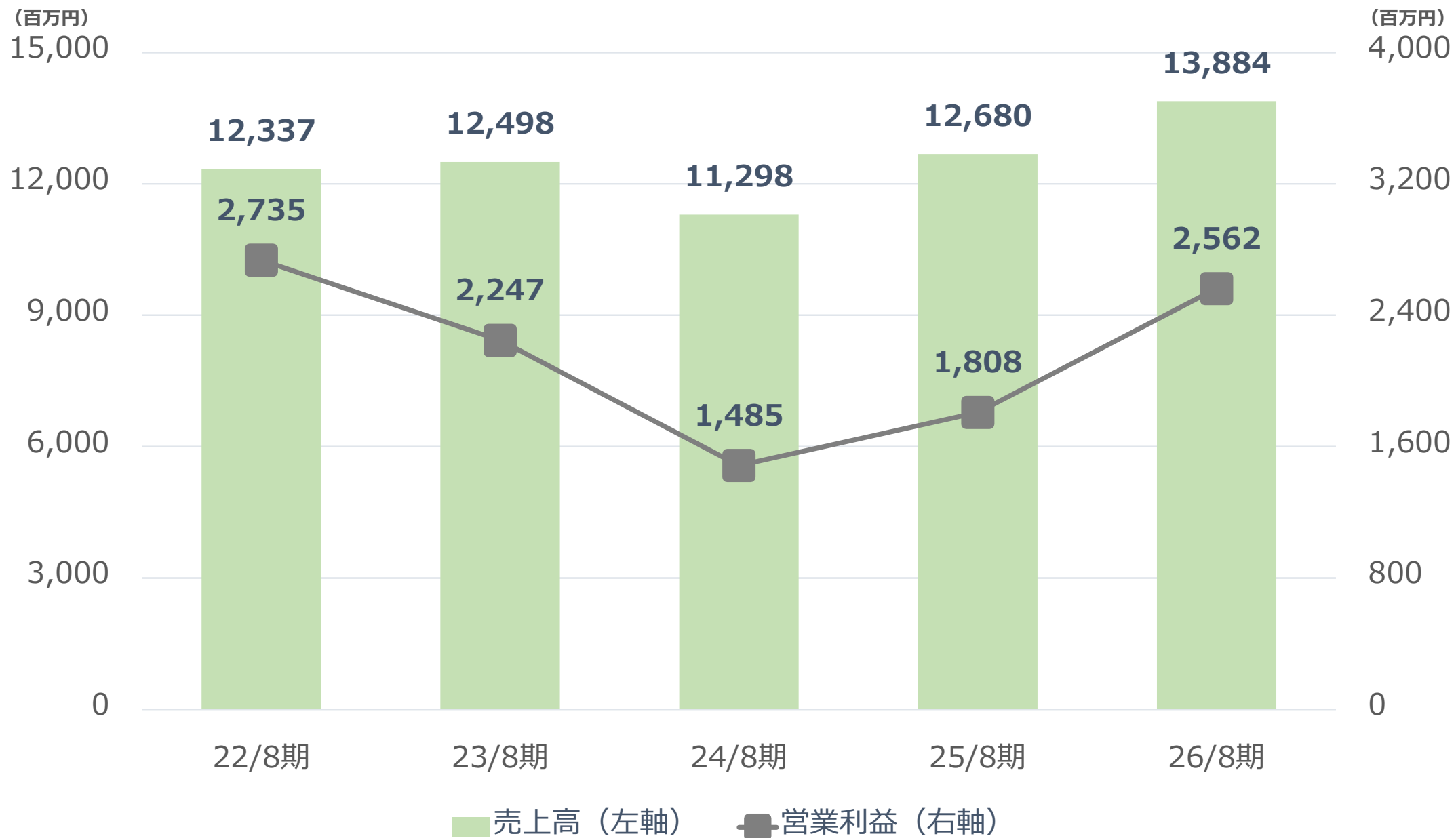
《研究機関・大学関連事業》

- 既受注の大口案件の製造・売上計上を着実に進めるとともに、新規受注した大口案件について、顧客希望納期に向けた製造対応を進める。

連結業績概要

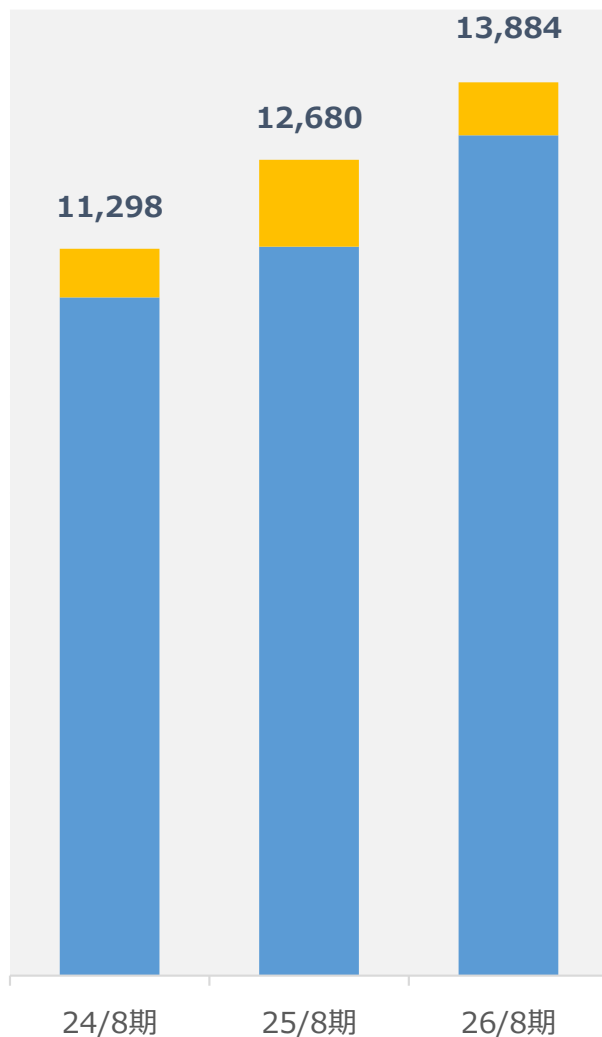
(単位：百万円)	25/8期 実績	26/8期 実績	前期比 増減率	予想	
				26/8期 業績予想	実績比 増減率
売上高	12,680	13,884	9.5%	13,600	2.1%
売上総利益	4,822	5,845	21.2%	-	-
営業利益	1,808	2,562	41.7%	2,500	2.5%
経常利益	1,897	3,010	58.6%	2,700	11.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,007	2,127	6.0%	1,850	15.0%

連結売上高・営業利益の推移



セグメント別売上高推移

(単位：百万円)



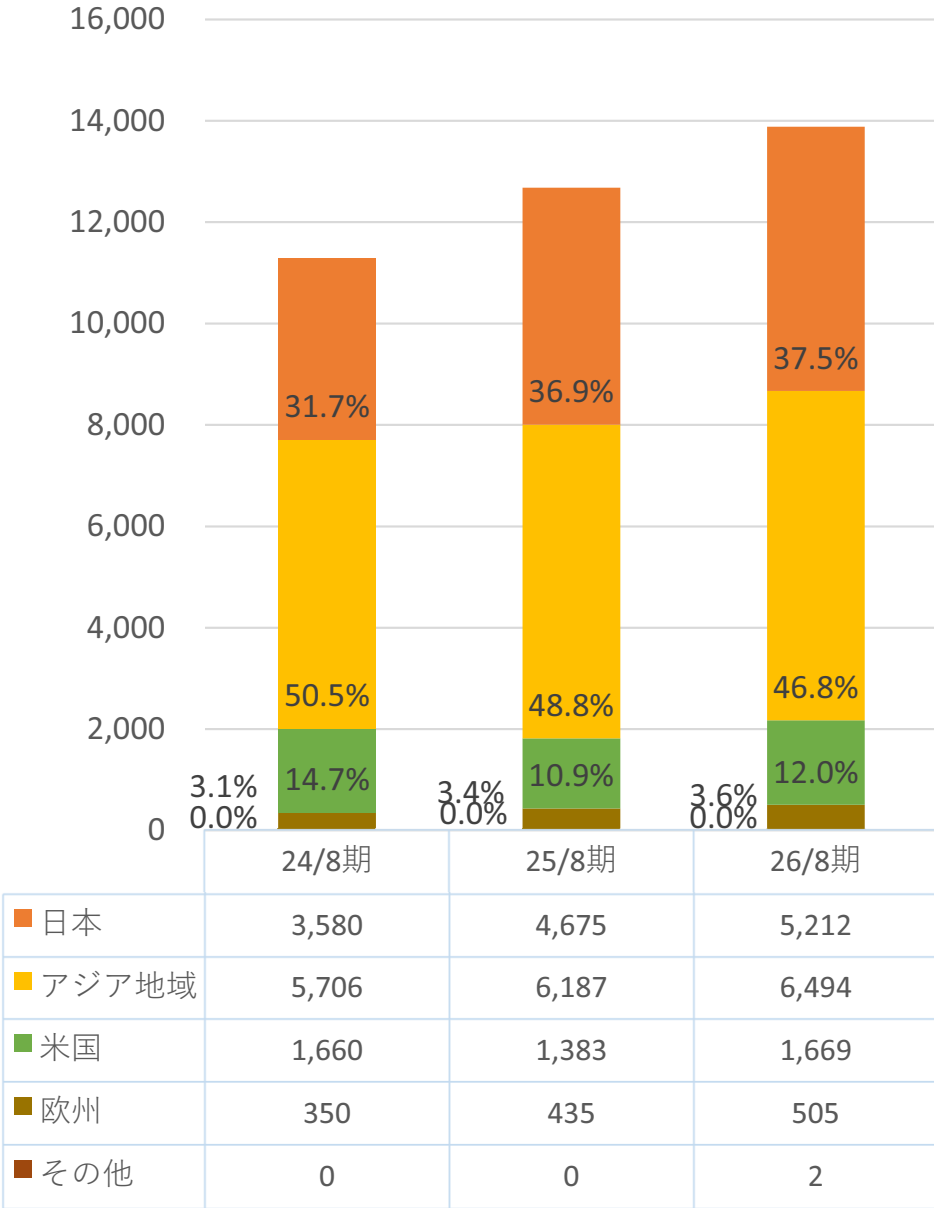
(単位：百万円)		25/8期 実績	26/8期 実績	前期比増減率
半導体・液晶 関連事業	売上高	11,328	13,059	15.3%
	営業利益	1,702	2,438	43.2%
研究機関・大学関 連事業	売上高	1,352	825	▲39.0%
	営業利益	37	46	24.2%
合計	売上高	12,680	13,884	9.5%
	営業利益	1,739	2,485	42.8%

※各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

連結地域別売上高

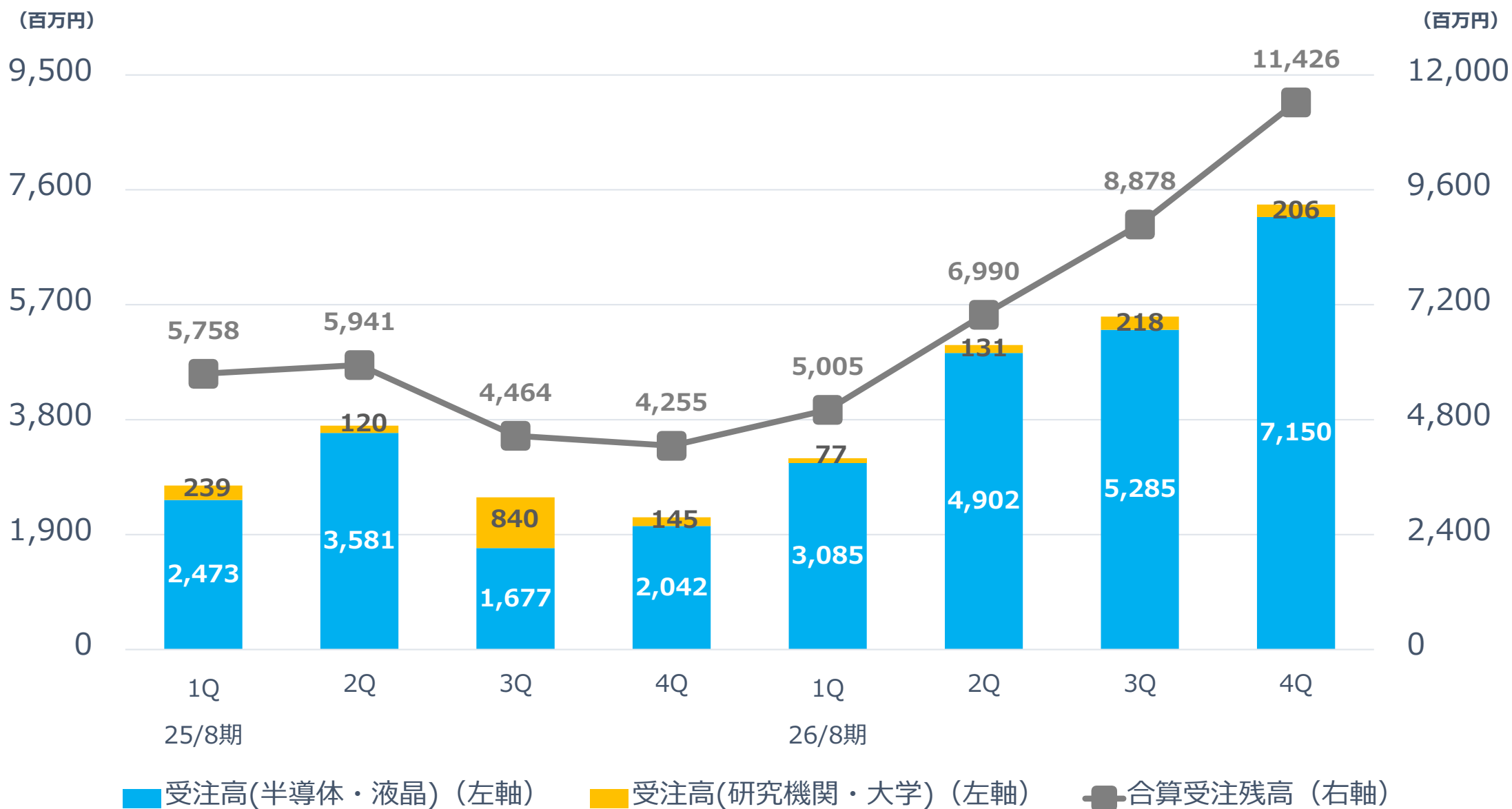
地域別売上高推移

(単位：百万円)



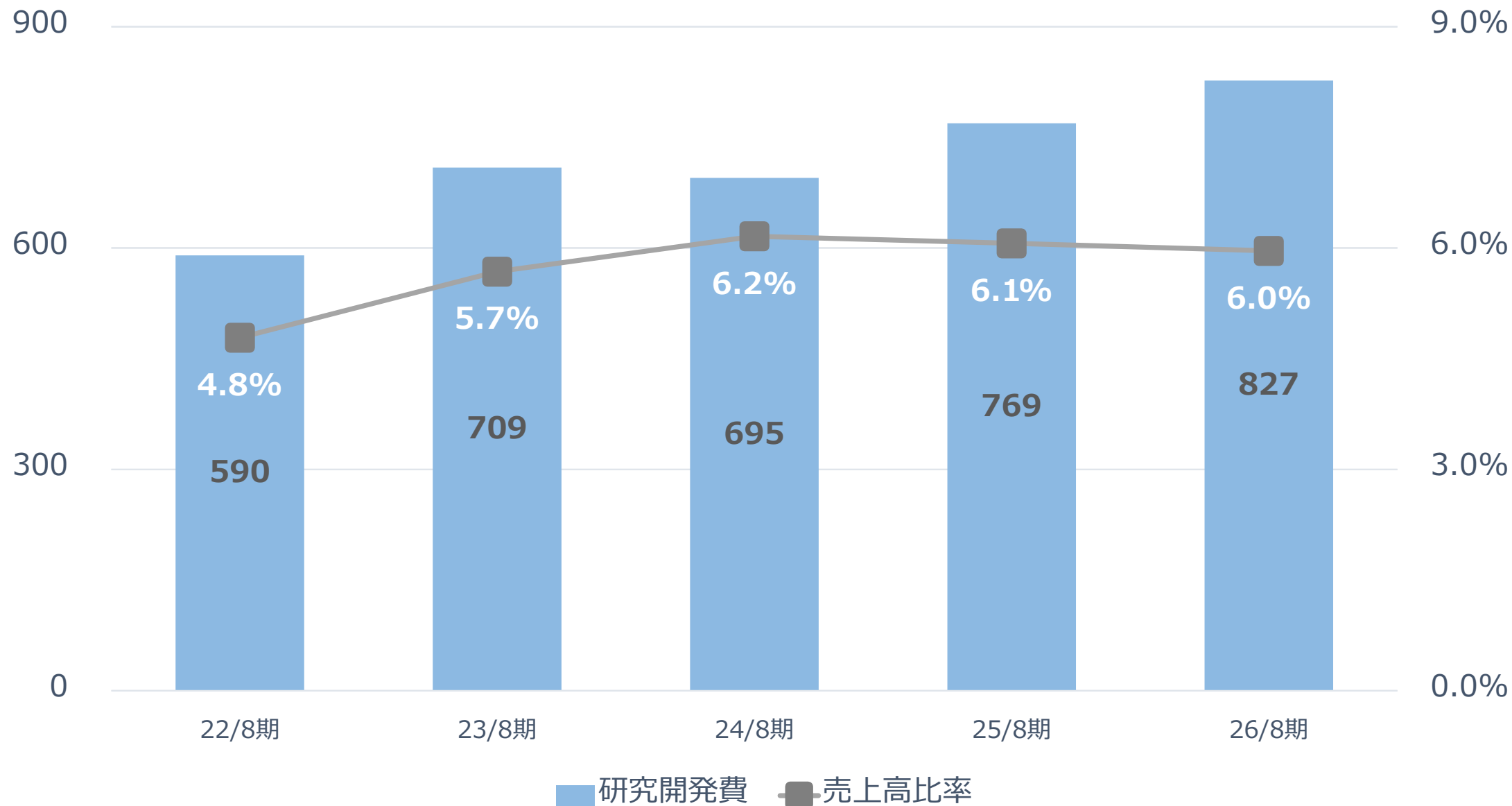
(単位：百万円)	26/8期 実績	セグメント別内訳	
		半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業
日本	5,212	4,387	825
アジア地域	6,494	6,494	-
米国	1,669	1,669	-
欧州	505	505	-
その他	2	2	-
合計	13,884	13,059	825

セグメント別受注高・受注残高推移



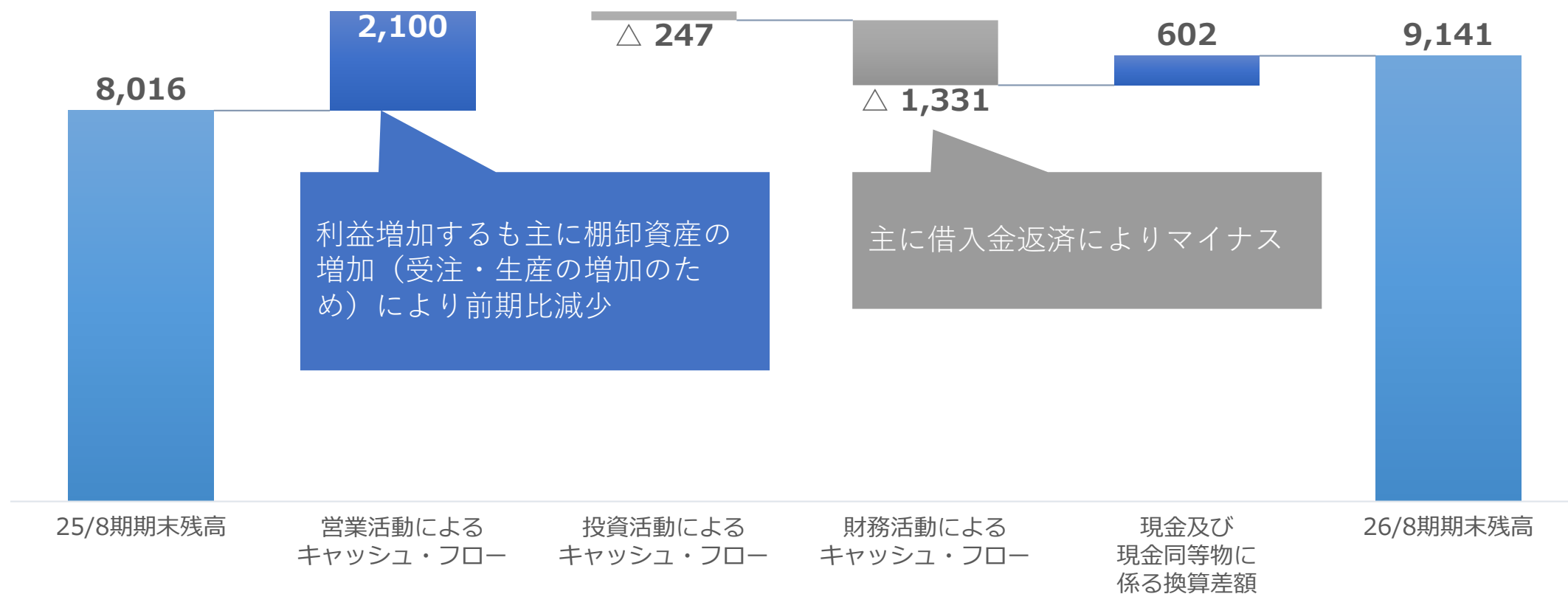
連結研究開発費推移

(百万円)



連結キャッシュ・フロー

(百万円)



2027年8月期 連結業績予想

半導体・光学業界の市場動向と受注環境

業界		26/8期 下期 (現状認識)	27/8期 上期 (見通し)	27/8期 下期 (見通し)	内容
※当社の市場認識に基づく					
半導体	メモリ				AIサーバー向け需要が引き続き市場を牽引。特にDRAMやHBMは供給不足気味であり、設備投資継続が見込まれる。強い成長局面が継続する見通し。
	ロジック				AIサーバー向け先端ロジック需要が成長を牽引。半導体市場全体に占める割合も高く、今後も拡大基調。継続的な設備投資増加を想定。
	イメージセンサ				スマートフォン以外にも、自動車、監視カメラ、医療機器、IoT、自動運転分野で需要拡大。高性能化に伴い単価上昇も期待。今後設備投資増加が見込まれる。
	車載半導体				EV市場の不振により低調な環境が続いていた。一方で、自動車の安全機能高度化を背景に、中長期的には需要拡大を予想。設備投資も徐々に増加すると想定。
光学系	スパッタ・蒸着 (有機EL・FPD含む)				スマホ・タブレット向け設備投資は2026年後半から改善見込み。2027年前半には業界平均レベルまで回復する見通し。 蒸着技術の用途が半導体分野へ拡大。用途拡大を背景に市場は成長基調と認識。

(矢印の見方)



強い回復・拡大



緩やかな回復・拡大



安定



緩やかな減速・縮小



強い減速・縮小

連結業績予想

(単位：百万円)	26/8期 実績	27/8期 通期予想	前期比 増減率
売上高	13,884	21,500	54.8%
営業利益	2,562	5,300	106.8%
経常利益	3,010	5,000	66.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,127	3,700	73.9%
1株当たり配当金 (年間) (円)	30	50	-

連結売上高・営業利益の推移（予想）



トピックス

2030年に向けた成長戦略

✓ 2026年8月期実績

🎯 今後の重点施策

2030年の目指す姿

連結売上高
400億円



400億円達成に向けた経営指標



生産能力 **4,500台/月**



開発案件数 **2倍**



海外売上高比率 **80%以上**



新量産製品
売上比率 **30%確保**



生産力

- ・製造DXによる生産効率向上
- ・ベトナム工場への生産移管推進
- ・内製化推進による収益性向上
- ・ベトナム工場の生産能力増強

- ・ベトナム人材の育成・組織強化
- ・海外製造拠点と本社製造部門の連携強化
- ・生産品質および生産効率の向上



設計開発力

- ・Mark5シリーズおよび高効率電源の開発推進
- ・RF関連製品・アプリケーション開発強化
- ・海外設計拠点の開発体制構築
- ・設計標準化による品質向上
- ・開発人材の育成強化

- ・Mark5シリーズのラインアップ拡充
- ・高付加価値製品の開発推進
- ・海外設計拠点とのグローバル開発体制構築
- ・計測技術を活用したソリューション提案強化
- ・開発プロセス標準化による生産性向上



営業力
技術サービス力

- ・国内外の営業・技術サービス体制強化
- ・高付加価値製品の提案強化

- ・国内外営業人材の育成強化
- ・現地社員の戦力化推進
- ・大口顧客への提案活動強化



新製品領域の
事業化

- ・ソリッドステート型マイクロ波システムの開発
- ・顧客先での量産稼働設計支援
- ・DC電源・バイポーラ電源の開発

- ・マイクロ波製品ラインアップの拡充
- ・新規用途開拓による事業基盤構築

製品群	製品仕様		開発状況
高周波電源	TSE（高効率）	13.56MHz / 10kW	● 製品化
	TSE（高効率）	27MHz / 5kW	● 量産機開発中
	AVL（高速制御 Mark 5）	13.56MHz / 3kW	● 量産機開発中
	TXE	13.56MHz / 1.5kW	● 量産機開発中
マッチングユニット	AME	27.12MHz / 5kW	● 開発中
計測器	ADS（50Ω系パワーセンサ）	13.56MHz / 5kW	● 開発中
	ADM（非50Ωインピーダンスセンサ）	27.12MHz	● 開発中
	PCアプリ（Mark 5測定器用）	-	● 開発中
マイクロ波応用機器	ソリッドステート合成器	2.45GHz / 500W-AMP	● 開発中

半導体事業 生産能力強化

設備投資・人員増強により需要増加に対応可能な生産体制を構築

生産能力台数

四半期生産能力
5,910台
25/8期比
3,990台→5,910台

生産実績台数

四半期実績
4,912台
過去**最高**を更新

ベトナム工場人員

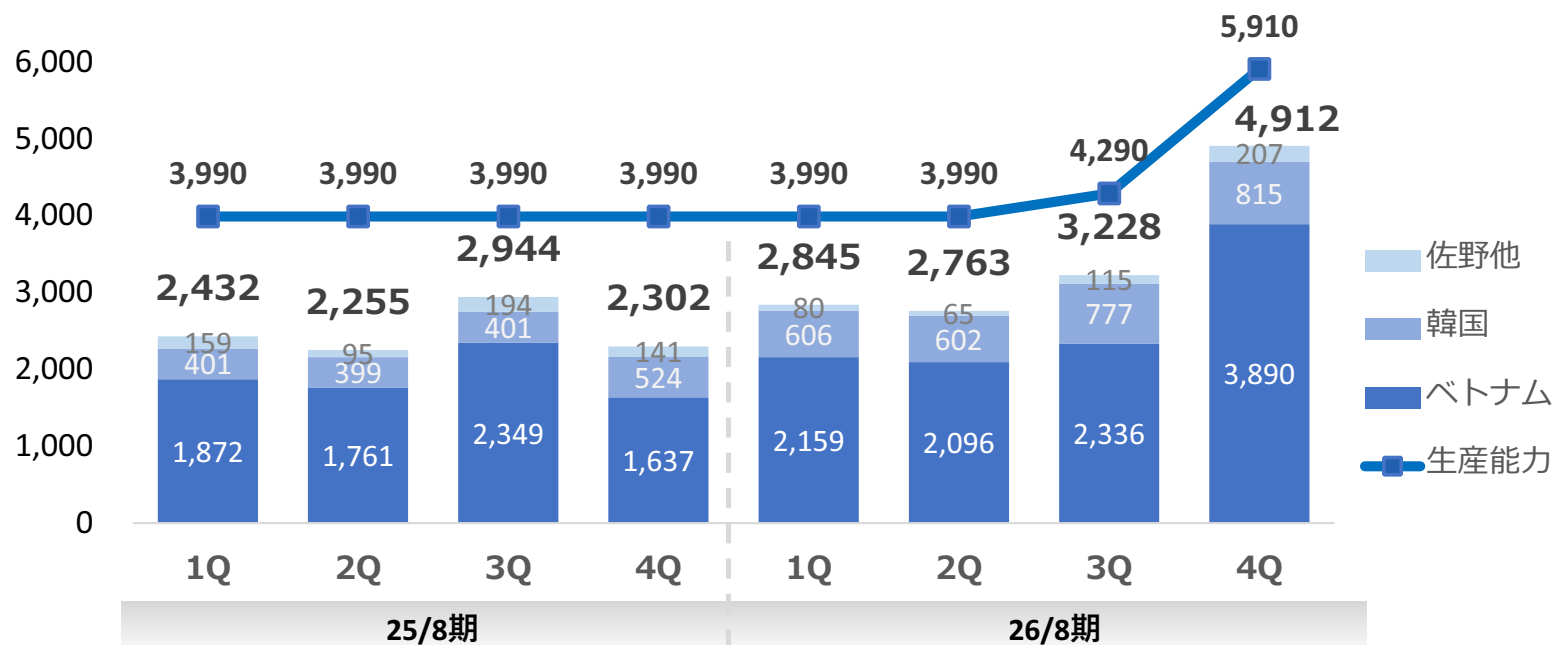
439人
(2026年8月末)
前年同期比 +88%

設備投資の強化



✓**板金加工の内製化推進等**
外注依存度を低減し、
生産効率向上を推進

生産能力・生産実績台数の推移



人員増強の推進



✓**生産人員の継続的な増員**
生産体制の拡大に伴い、
計画的に人員を増強

ご参考資料

会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月26日
所在地	広島県福山市引野町五丁目 6 番10号
決算期	8月
資本金	835百万円（2026年8月末）
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数（連結）	681名（2026年8月末/臨時従業員除く）
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
グループ拠点	国内：広島・神奈川・栃木 海外：米国・英国・ベトナム・韓国・台湾・中国

半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させる高周波電源を主力製品とした関連製品の設計、製造、販売、サービスの提供

ユーザー

- 半導体製造装置メーカー
- 光学機器メーカー etc.

主力製品

- 高周波電源(RFG)
- マッチングユニット(MU)
- 計測器
- 直流電源
- マイクロ波応用機器

会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
Adtec Technology, Inc.
Adtec Europe Limited
ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.
ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.
ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.
ADTEC Plasma Technology China Ltd.

研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用される、治療装置や実験施設等の電源装置の設計、製造、販売

ユーザー

- 国の研究機関
- 大学及び大学病院
- 一般産業 etc.

主力製品

- 粒子加速器電磁石励磁用電源
- 高電圧電源
- 直流電源
- マイクロ波応用機器

会社名

株式会社IDX

アドテックグループの強み

▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力
電源専門メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力
高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

RFG・MUの使用工程例

シリコンウェハー上に作られるICチップの前工程

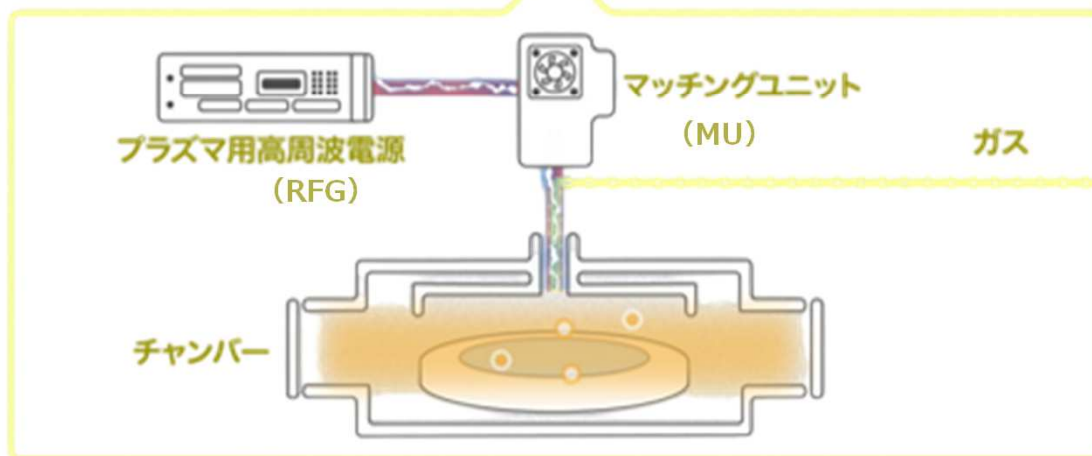


安定性
Stability



ドライプラズマ
プロセス

耐久性
Durability



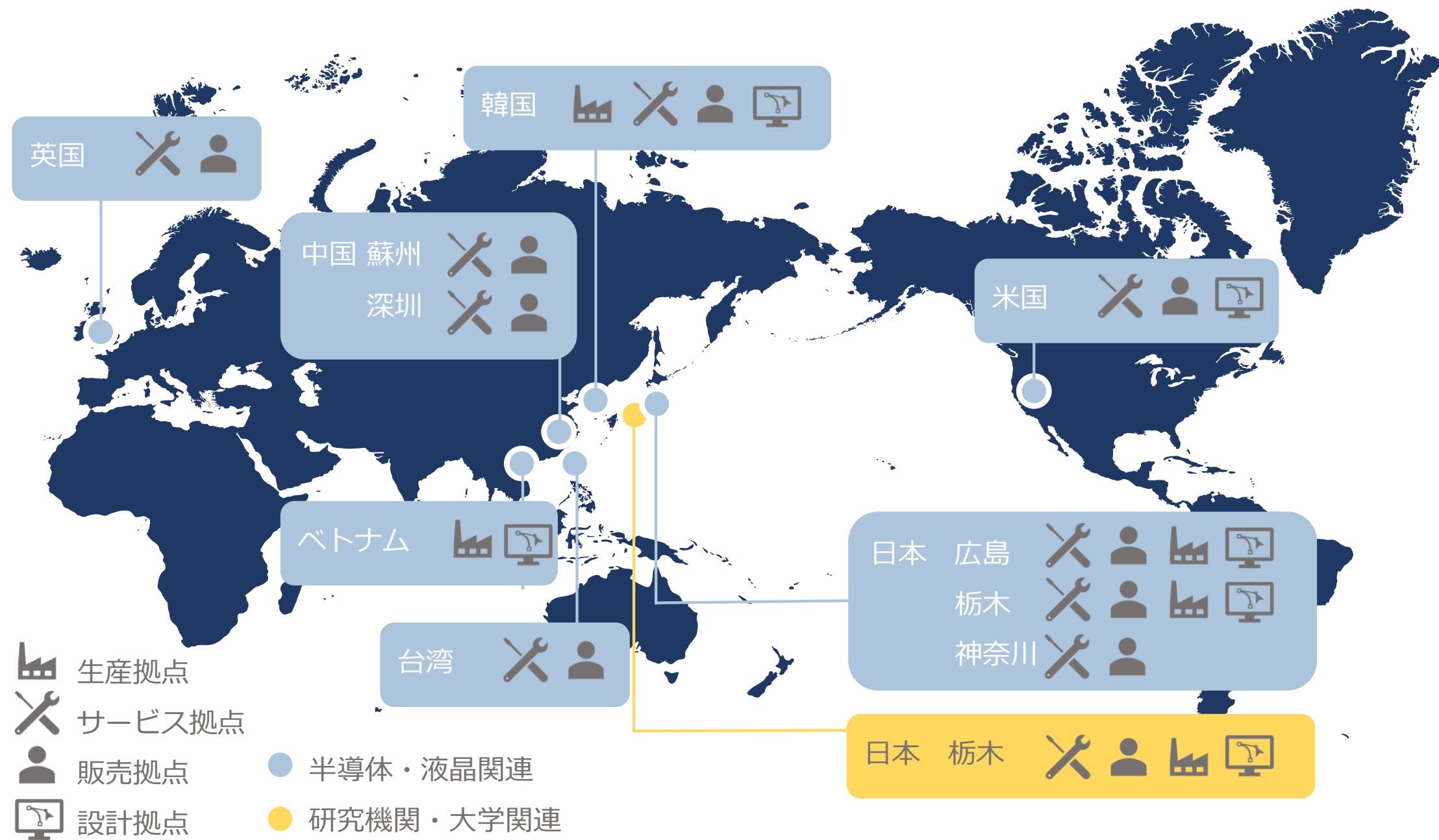
半導体製造プロセスにおいて、エッチングや成膜などの微細加工を実現する為に、プラズマ発生用の高周波電源は必要不可欠。

【求められる性能】

チャンバー内で起こる現象に合わせ、安定したプロセスを再現できる必要がある為、安定した正確な電力供給ができる制御技術と、耐久性が求められる。

【当社主力製品RFGの強み】

革新的な電気回路技術を用いて、故障率が低減した製品。



ご清聴ありがとうございました。

■将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。